

(表面)

記入例

工事中の消防計画届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

習志野市消防長 あて

管理権原者

住所 〇〇県〇〇市〇〇町 〇〇丁目〇〇番〇〇号

職・氏名 (株)〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇

電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

防火管理者

住所 〇〇県〇〇市〇〇町 〇〇丁目〇〇番〇〇号

職・氏名 (株)〇〇〇〇 管理部長 〇〇 〇〇

電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

工事中の消防計画について、次のとおり届け出ます。

防火対象物	所在地	習志野市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号		電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		
	名称	〇〇〇〇ビル				
	用途	用途を記入 【例】物品販売店	延べ面積	〇〇〇〇㎡	階数	地上 〇〇 階 地下 〇〇 階
	工事箇所及び その床面積	〇階△△区画(床面積 1,000㎡)		構造	構造を記載	
工事期間		令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 令和〇〇年〇〇月〇〇日				
工事概要		【例】新規テナント入居に伴う〇階の改修(天井張り替え、間仕切位置変更)工事。				
工事監理	工事管理者 住所・氏名	工事監理を行う者の住所・氏名及び電話番号を記入 電話				
	現場監督責任者 住所・氏名	現場監督責任者の住所・氏名及び電話番号を記入 電話				
工事施工	工事施工者 住所・氏名	工事施工を行う者の住所・氏名及び電話番号を記入 電話				
	現場監督責任者 住所・氏名	現場監督責任者の住所・氏名及び電話番号を記入 電話				
※ 受付欄			※ 経過欄			

(裏面)

工事により機能の確保に支障を生じる避難施設、消防用設備等及びその代替措置等					
	種別	工事期間 及び時間	箇所	代替措置の概要	管理の方法
避難施設等	廊下等	令和〇〇年〇〇月〇〇日 18:00～ 令和〇〇年〇〇月〇〇日 20:00	〇階で避難経路変更	仮設間仕切りによつて専用経路を確保する	・工事中は避難導線が変更となるので、避難誘導担当者及び作業員に対して避難経路の周知徹底をする ・二方向避難を確保
	階段等	令和〇〇年〇〇月〇〇日 18:00～ 令和〇〇年〇〇月〇〇日 20:00	屋内避難階段(東側) (〇階工事部分)	・誘導灯を移設し表示を変更 ・屋外避難階段(西側)へ避難誘導	同上
	排煙等	令和〇〇年〇〇月〇〇日 18:00～ 令和〇〇年〇〇月〇〇日 24:00	〇階 図中A部分、作動不可	・仮設間仕切りで区画する ・消火器を重点配置する	・作業員教育を徹底する ・工事責任者が作業中作業完了後に点検を行う ・可燃物の保管を行わない
	非常用照明等	令和〇〇年〇〇月〇〇日 21:00～ 令和〇〇年〇〇月〇〇日 22:00	〇階工事部分	建築物の使用時間外に工事を行う	同上
	防火区画等	令和〇〇年〇〇月〇〇日 18:00～ 令和〇〇年〇〇月〇〇日 24:00	〇階防火シャッター取替中A、B間の区画が成立しない	工事部分を1時間耐火構造の仮囲いで区画する	この部分の工事を優先して行い仕上工事中にはシャッターが作動できるようにする。
消防用設備等	種別	種類		代替措置の概要	
	消火設備	☆使用できなくなる設備を記入してください スプリンクラー設備 (〇階工事部分区域内)		・消火器〇本増設(設置位置は別添え図面に記入する。) ・停止時間及び停止部分は、必要最小限にし、機能を停止する工事は、営業時間等以外の時間に行う。また、営業時間が昼夜にわたる場合は、昼間に工事を行う。 ・警備員を定期的に巡回させ監視体制を強化する。	
	警報設備	・自動火災報知設備 ・非常警報設備(放送設備) (〇階工事部分区域内)		・仮設感知器及びスピーカーを設置し機能確保(設置位置は別添え図面に記入する。) ・発信機の機能確保	
	避難設備	誘導灯 (〇階工事部分区域内)		・誘導灯を移設し機能確保(移設位置は別添え図面に記入する。) ・誘導灯の表示を変更し避難経路を確保する。	
	消防活動上必要な施設	連結送水管(放水口) (〇階工事部分区域内)		・消火器〇本増設(設置位置は別添え図面に記入する。) ・使用不能期間を必要最小限にする ・警備員を定期的に巡回させ監視体制を強化する。	
特殊消防用設備等	/				
その他・非常用進入口等	非常用進入口		・仮設進入口を確保し、仮設進入口に表示板を設置する。 ・工事責任者は、仮設進入口付近に障害となる資機材等が置かれていないか、随時確認する。		

第2号様式の2 (その2) (第5条の2)

(表面)

工事部分と使用部分の区画の方法		<p>・工事部分はLGSに不燃プラスターボードを貼り仮囲いを施し工事部分と使用部分の区画を明確にする(別添平面図参照)。また、工事時間以外は、外部から侵入できないように工事部分の出入口を施錠する。</p>		
出火危険防止 (火災発生のおそれがあるもの)				
	種類・量	使用・持込み期間及び時間	使用場所	設置・管理の方法
工事に伴う火気使用の状況	<p>☆火を使用する器具等を記入してください</p> <p>電気溶接機 2台</p> <p>ガス溶断機 1台</p> <p>電気溶接機 2台</p> <p>電気サンダー 1台</p> <p>高速カッター 1台</p>	<p>令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日(18:00～24:00)</p>	〇階工事部分区域内	<p>① 使用時には、消火器、水バケツ等を設置する。</p> <p>② 機械器具等を使用する部分は、不燃シートで養生し、その区画において作業をする。</p> <p>③ 危険物及び可燃物の周辺では使用しない。</p> <p>④ 作業前に周囲の清掃、整理を行う。</p> <p>⑤ 作業後の残火の点検、確認を行う。</p>
危険物	<p>☆危険物の類・品名・持ち込み量を記入してください</p> <p>ボンド(接着剤)(第4類第1石油類) 10リットル缶 1個</p> <p>合成樹脂塗料用シンナー(第4類第2石油類) 18リットル缶 1個</p> <p>合成樹脂塗料(第4類第3石油類)</p>	<p>令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日(18:00～24:00)</p>	〇階工事部分区域内	<p>① 集積場所を指定し、集積場所には消火器、水バケツ等を設置する。</p> <p>② 危険物の持ち込み数量は指定数量の5分の1未満(少量危険物未満)となるように厳守する。</p> <p>③ 作業に使用する量だけ持込み、余った場合はその日に持ち帰る。</p> <p>④ 火気厳禁・喫煙禁止を表示し、これらの行為を禁止する。</p> <p>⑤ 危険物使用時は換気を行い作業を行う。</p>
資材	<p>☆可燃性の資材を記入してください</p> <p>合板 60枚(1800mm×900mm)</p> <p>発泡ウレタン 150m³</p> <p>壁用クロス</p>	<p>令和〇〇年〇〇月〇〇日～令和〇〇年〇〇月〇〇日(18:00～24:00)</p>	〇階工事部分区域内	<p>① 責任者を表示する。</p> <p>② 整理・整頓を徹底する。</p> <p>③ 資材を高積みしない</p> <p>③ 火気を遠ざけた一定集積場所を指定し、搬入数量を把握する。</p> <p>④ 残った分は不燃シートで覆う。</p> <p>⑤ 発泡ウレタン吹き付け工事中は火気を使用しない。</p>
その他	<p>☆その他火災発生のおそれがあるものを使用する場合記入してください</p>			

防火管理体制

火災
予
防
対
策

工事部分の対策（教育・訓練の実施状況等）

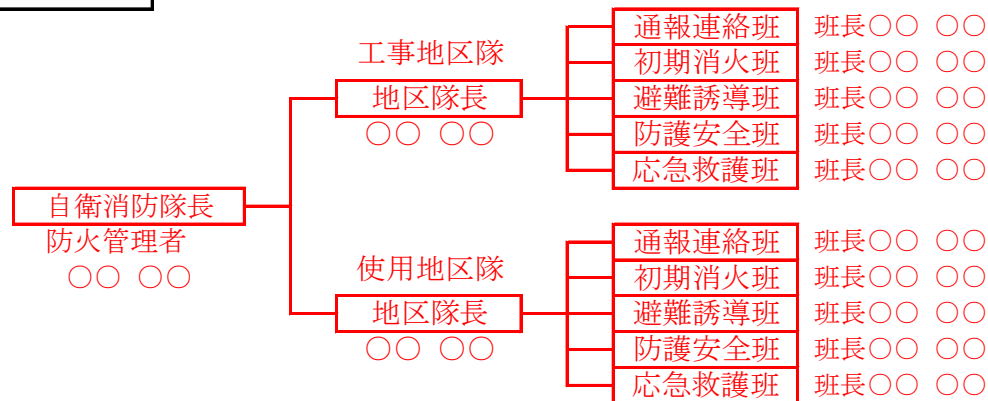
- 1 危険物の使用は、責任者に管理させ、一般部分と区画を行う旨を掲示する。
- 2 火気を使用する場合は、消火器の配置と不燃シートを使用し、作業終了時に点検し、管理者に報告する。
- 3 自衛消防組織編成表を現場事務所内、工事人休憩室の見やすいところに掲示する。
- 4 喫煙場所を1ヵ所設け、消火器と灰皿を配置し、全員がこの場で喫煙するよう教育する。
- 5 各下請業者に必要な応じ、消火器を付与する。
- 6 工事部分等における避難経路図を作成し、工事部分等の出入口、現場事務所、休憩所、各階段付近に掲示する。また、避難経路には、資材等の物品が置かれないう確保する。
- 7 外国人労働者等の臨時的に就業する作業員等に対しては、工事施工責任者が個別に防災教育を実施し徹底を図る。

使用部分の対策

- 1 防火管理者のもと、定例会議、工程会議等において工事の内容、工事の進捗状況及び火気の取扱い、使用状況をチェックし防火管理体制を確立する。
- 2 使用部分の関係者に、工事の内容を伝え、避難施設、消防用設備等が工事により一時的に使用できない部分を把握させ、緊急時の対応を徹底させる。

自衛消防組織

組織表



☆この欄に記入できない場合は、別紙で添付してください。その場合、組織表欄には別紙参照と記載してください。

使用部分と工事部分の相互の連絡体制

- 1 使用部分と工事部分の相互の連絡は管理事務所、警備室に対し施設管理者を通じ、密接に行う。
- 2 夜間作業については、緊急連絡先一覧表を作成し現場内に掲出する。
- 3 防火管理者は、工事地区の防火担当者と使用地区の防火担当者の連絡会を毎月〇〇日に実施するものとする。
- 4 工事部分と使用部分との日常における相互連絡は内線電話(直通〇〇番)により行い、緊急時には相互に設置された非常ベルにより事態発生 of 通報を行う。

備考

- 1 管理権原者及び防火管理者は、氏名を自署することにより、押印を省略することができます。
- 2 案内図、配置図、工事関係図及び工事工程表等を添付してください。
- 3 工事箇所と他の部分との区画、避難通路及び避難施設、喫煙場所、消防用設備等を図面上に明示してください。
- 4 ※印の欄は、記入しないでください。

☆添付書類にあつては、備考欄2を参照してください。
 なお、工事工程表は工事時間及び休日、夜間等の工事時間を明示してください。また、平面図等で備考欄3の内容が確認できるようにしてください。